

弱法師

佐川勝貴

翁
鶴亀

武田志房

狂言
仕舞
大黒連歌
塚

山本東次郎
観世清和



花影会

第四十七回「代替公演」



写真撮影 前島吉裕

～花影会及び翁付きについて～

花影会は、昭和54年に故・武田太加志が晩年の芸道の集大成として、能楽の芸術性の高さと深さを追求することを目指して発足した公演です。

平成30年からの春公演では、稀少な「翁付き」の上演形態にて、翁・脇能（今回は「鶴亀」）・脇狂言（今回は「大黒連歌」）を一式として行っています。これは、江戸時代に幕府が能楽を武家の式楽として、儀式で行う正式な芸能と定めていた形式です。翁は、「能にして能に非ず」といわれ、「天下泰平」「国土安穩」を願う神事とされています。

近年この「翁付き」の例年開催が著しく減少し、とても貴重な鑑賞機会となりました。是非お誘い合わせの上、ご来場ご高覧いただきたく、お待ち申し上げます。

令和3年2月20日(土)

13時開演 ● 12時開場

17時30分終了予定

開演後「翁」終了までの約1時間は、客席への入退場を
ご遠慮くださいますようお願い申し上げます。

於◎ 二十五世観世左近記念

観世能楽堂

〒104-0061

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3階

主催：公益財団法人 武田太加志記念能楽振興財団

<http://ttmnf.or.jp/kaeikai/>



助成：独立行政法人 日本芸術文化振興会

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)



翁と脇能（＝鶴亀）のシテは、どちらもベテランの武田志房が勤めます。近年は翁と脇能のシテは別人が勤めることが主流ですが、花影会では江戸時代の本式に倣って同じ役者が勤めています。令和 年2月で満 歳となる志房には、十分な気力と体力が必要な重責となります。

弱法師のシテを勤める佐川勝貴は、大学時代に能楽と出会い、卒業後の就職を辞して志房の元へ内弟子修行に入りました。成人してから芸歴を重ねた能楽師にとり、弱法

全席指定

- SS席 18,000円
- S席 15,000円
- A席 12,000円
- 学生席 3,000円
- B席 9,000円
- C席 6,000円

★通信、放送大学等を除く、30歳未満の学生に限らせていただきます。

